



TKK 共通シラバス

1. 科目名	地域減災論Ⅱ				
2. 教員名	梶原 洋		3. 担当大学	東北福祉大学	
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	後期	6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>地域減災論Ⅰでは、災害に対する「自助」、「共助」、「公助」や「地域での取組」、「心のケア」等について基礎的な内容を学習した。</p> <p>地域減災論Ⅱは、他大学との連携を図ってさらに広い視野からの「減災・防災」について学ぶ。また、2011年3月11日に発生した東日本大震災の経験も踏まえ、地域における減災・防災を通じて、安心して安全な地域づくりのできる人材の育成を強化するため、今後の展望や可能性などについても多面的に学んでいく。本科目により、災害に関する基本的な知識を理解し、被害を最小限にするための技術を身につける。また、個人や家族のみならず、地域社会においても防災・減災活動の指導的役割を担って実践できる。</p>					
8. 授業のキーワード（神）					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
主題ごとの専門家によるオムニバス形式の授業を展開する					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
レジュメを準備する。					
11. 授業時間外に必要な学修（神）、事前・事後に受講してほしい講義等（東）					
<p>【事前に受講してほしい講義等】</p> <p>地域減災論Ⅰ、災害福祉論、ボランティア論、ボランティア活動論、福祉ボランティア活動Ⅰ・Ⅱ</p> <p>【事後に受講してほしい講義等】</p> <p>災害福祉論、ボランティア論、ボランティア活動論、福祉ボランティア活動Ⅲ・Ⅳ</p>					
12. 提出課題など（神）					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
評価はレポート試験(70%)、授業態度(30%)とする。					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
<p>新聞、テレビ等の地域減災活動の動向に関心を持ちそれについて考えてみる。</p> <p>より実践力を身につけるために「減災・予防福祉演習」・「福祉ボランティア活動Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を履修してほしい。また、3分の2以上の出席がない場合は、試験を受けることができないとともに（欠格条件）、20分以上の遅刻は欠席とみなします</p>					

15. 参考（オフィスアワー（工）等）

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	オリエンテーション	減災・防災とは何かを述べる
第2回	被災地の現状と支援	被災地の現状と支援について述べる
第3回	災害時の避難所設置と運営	避難所支援の課題について述べる
第4回	ペットの避難所	被災地のペットの現状とボランティア活動について述べる
第5回	災害と情報	被災地の現状と支援について述べる
第6回	消防団の活動と課題	消防団の現状と課題について述べる
第7回	災害時のボランティア活動 （学生の地域減災活動）	本学における災害時学生ボランティア活動について述べる
第8回	災害と保険	災害と保険の関連性と活用について述べる
第9回	備えあれば… ～事前の備えといざというときの情報利用～	災害情報の活用方法について述べる
第10回	災害ボランティアの現状と課題	災害ボランティアセンターの事前取り組みについて述べる
第11回	建物の耐震対策	建物と地震防災の関連性と対策について述べる
第12回	企業の社会貢献（被災者支援）	企業の社会貢献の取り組みについて述べる
第13回	救急・救命活動 ～トリアージと応急手当を学ぶ～	トリアージの役割と応急手当の対応について述べる
第14回	災害とボランティア～義援金と救援物資～	義援金と救援物資の活用と課題について述べる
第15回	地域減災と社会貢献	地域減災と社会貢献における現状と課題について述べる

【コンピテンシー】※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

（下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。）

コンピテンシー	ポイント
マインド的コンピテンシー	4
成果を挙げるためのコアコンピテンシー	3
受容的コンピテンシー	3
応用的コンピテンシー	4
対人・集团的コンピテンシー	4

コメント

--